

# 第68期定時株主総会

## ニプロ株式会社

## ● 報告事項

1. 第68期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）  
事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および  
監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第68期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）  
計算書類報告の件

## ● 決議事項

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件           |
| 第2号議案 | 取締役1名選任の件          |
| 第3号議案 | 補欠監査役1名選任の件        |
| 第4号議案 | 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件 |

企業集団の現況に関する事項  
事業の経過および成果

## 世界経済・日本経済

### 前期以降

感染収束の見通しが立たない新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の大きな制限

➡ 消費需要の低下・生産活動の停滞  
未曾有の事態が長期化

### 後半

COVID-19ワクチン接種の進行とそれに伴う特需

➡ 一部活発化

3回目の緊急事態宣言発出

➡ 依然として先行き不透明な状況

## 医療機器・医薬品業界

感染拡大以降、受診自粛と外来診療抑制は継続

➡ オンライン診療に関する規制緩和が進み  
在宅医療への動きが加速

## COVID-19ワクチン関連

➡ 国内における必要数の確保が急がれ  
国産ワクチンの開発も進行

## ●ニプログループの取り組み

国内シェア拡大

海外売上の拡大

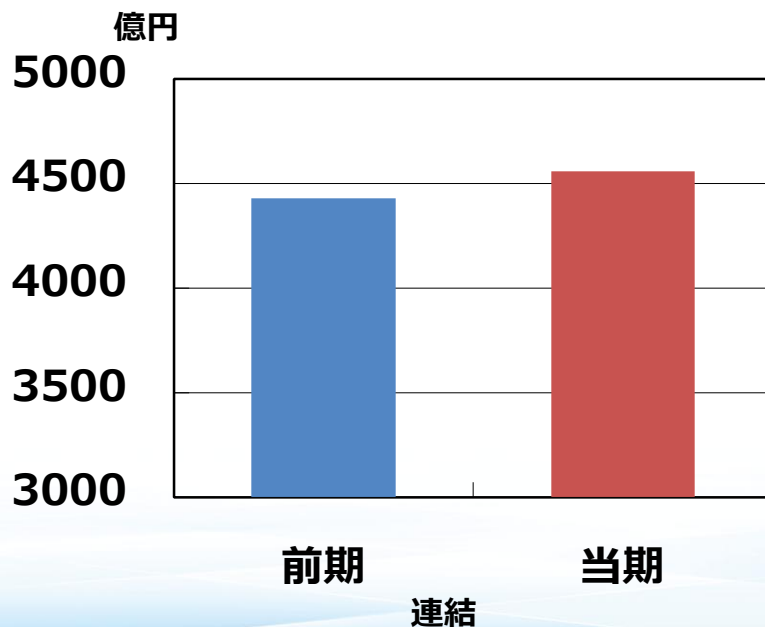
生産コスト低減

ユーザー目線に立った製品の開発



# 業績向上に努める

## 連結売上高 4,555億59百万円 (前期比2.9%増加)



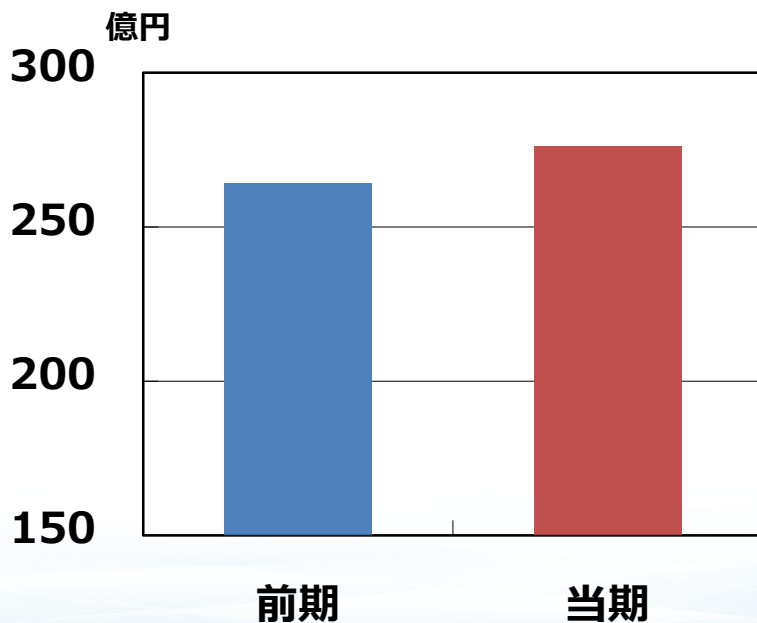
- ・循環器内科、整形外科などの一部診療科製品の売上減少
- ・抗菌剤やかぜ薬等の需要減少に伴う受託件数の減少

- ・透析関連の堅調な推移
- ・COVID-19ワクチン関連容器、シリンジ注射針の医療器具、手袋・マスク等の衛生材料の需要増加

単体売上高 3,349億4百万円  
(前期比1.7%減)

## 連結営業利益

**276億27百万円**  
(前期比4.6%増加)



連結

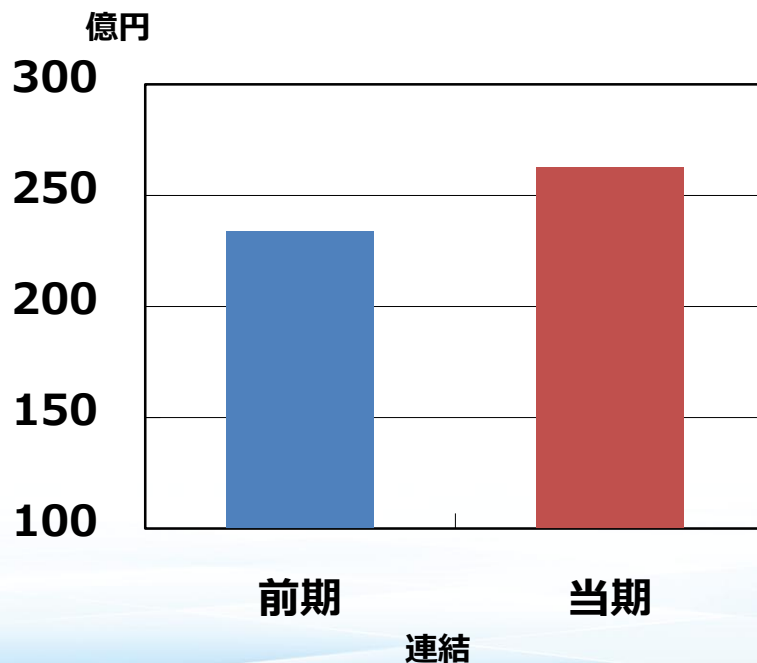
- ・ダイアライザが比較的堅調に推移
- ・北米・中南米の感染症防護製品の特需
- ・製造原価の低減
- ・旅費交通費、販売促進費等の経費支出の抑制

単体営業利益 123億92百万円  
(前期比4.8%減)



## 連結経常利益

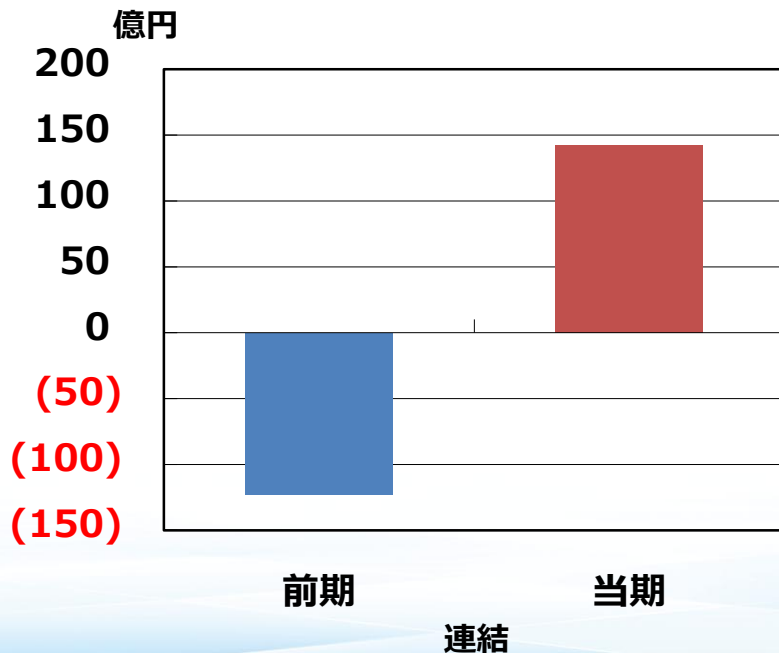
**262億69百万円**  
(前期比12.2%増加)



当第4四半期に為替レートが円安方向に推移し、8億57百万円の為替差益を計上  
(前年度：29億99百万円の  
為替差損を計上)

単体経常利益 164億90百万円  
(前期比2.7%増)

## 親会社に帰属する当期純利益 142億9百万円



- ・ 係争案件に関する損害賠償金
- ・ ニプロファーマ鏡石工場の災害（地震）による損失
- ・ 子会社の固定資産減損損失
- ・ 関連会社株式の減損
- ・ 子会社の貸付金に係る貸倒引当金繰入

- ・ 米国統括会社における連結納税の開始
- ・ 中国ダイアライザ製造子会社の収益力向上による繰越欠損金の評価性引当額に対する繰延税金資産の資産性再評価による法人税等調整額の大きな減少

単体当期純利益 97億40百万円  
(前期比一%)

# セグメント別の概況

## ● 国内販売

引き続き感染拡大の影響により  
➤ 厳しい市場環境が続く

### ● 国内販売 メディカル営業部門



バスキュラー



輸液



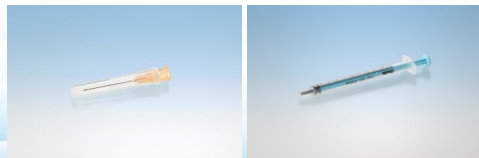
心臓外科



透析



衛生材料



注射針類

低調な推移



堅調な推移



需要の増加




特需により好調に推移



### ● 国内販売 医薬営業部門

風邪関連製品



新型コロナウイルスの影響で  
復調の兆し見えず 

抗菌薬



前年を徐々に上回る 

デクスメトミジン等重点製品  
6月・12月の追補収載品



順調にシェア拡大 



### ● 海外販売

**変異コロナウイルスにより再度世界的な感染拡大の影響は続く**

➤ **世界中でCOVID-19ワクチン接種開始**

➤ **徐々に中止されていた入札も再開されるなど営業活動が正常化**

## ● 海外販売

### ■ 欧州

デジタルツールによる  
積極的な販売活動を実施

### ■ 北米

バスキュラー商品の  
販売組織構築を実施

### ■ 世界各地

COVID-19ワクチン用シリンジの販売拡大を実施





### ● 海外販売

#### ■ 透析センター

中南米、中国・タイにおいて  
開設拡大を実施

#### ■ 販売拠点

中国市場

販売拠点増強・人員増強を継続

アセアン諸国市場

シンガポールを中心に販売拠点増強・  
人員増強を実施



### ● 海外生産拠点

#### ■ インド

ダイアライザ新規生産ライン

➤➤ 再度の感染拡大により  
稼働開始の見通しが困難な状況が継続

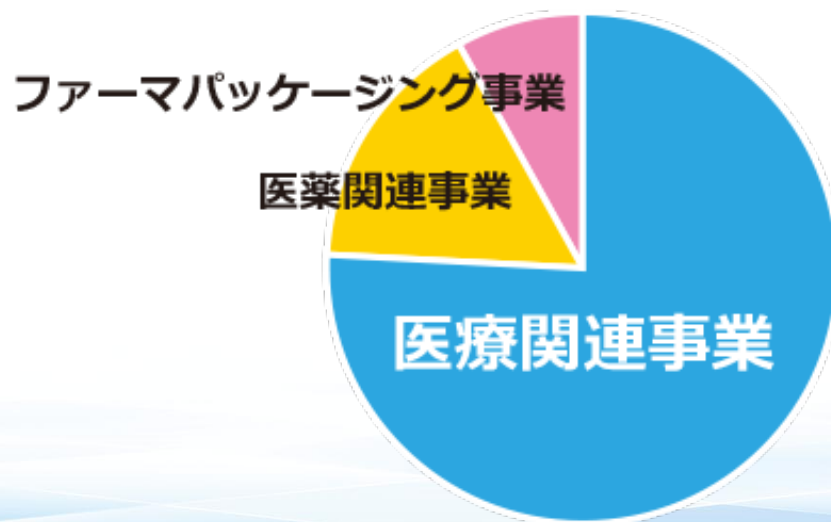
#### ■ その他生産拠点

➤➤ 概ね通常通りの稼働  
引き続き品質維持に努め、安定供給、  
コスト削減に取り組む



# 医療関連事業の売上高

**3,476億48百万円**  
(前期比3.5%増加)



品質向上のための継続的な取り組みを図る

- ・クオリティカルチャーの醸成
- ・品質保証体制の強化

積極的な製造能力の増強に注力

様々な医薬品剤形を製造する体制構築

治験薬の製造や医薬品包装容器や投与システムからの開発、製造が可能である特徴を活かした積極的な提案型の営業活動

➡➡ 複数の新規受託製造品目の出荷を開始 ↗

一部の製品で顧客から受注数量が大幅に増加

➡ 該当ラインの増産体制を整え、  
安定的な製造を実施

該当製品による売上高伸長



昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響

➡ 一部の製品の生産数量が減少



令和3年2月13日の福島県沖地震で、  
ニプロファーマ鏡石工場が被災

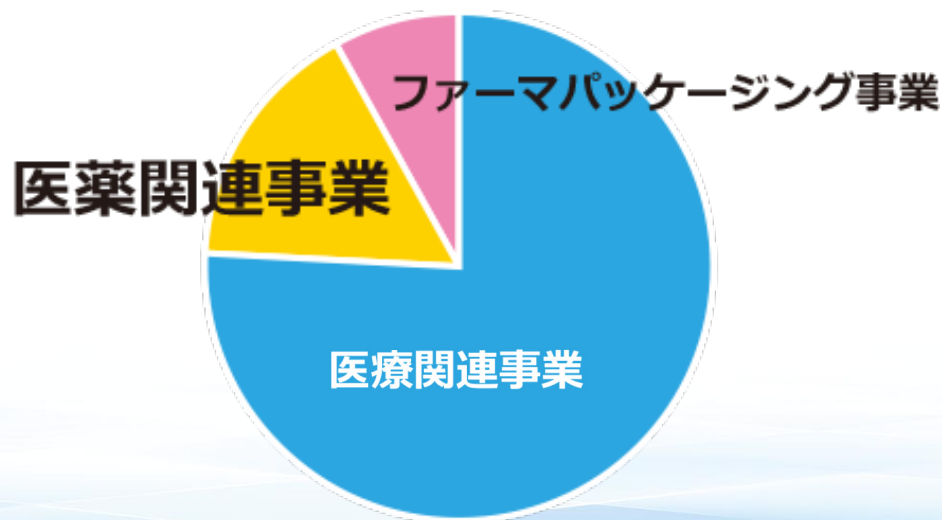
➡ 一時的に出荷数量が減少

当期の売上高に影響を及ぼす



# 医薬関連事業の売上高

**685億64百万円**  
(前期比2.5%減少)



## 世界的な感染拡大の中



アンプル



バイアル

基礎的な医薬用容器  
シェア拡大 



滅菌済ガラスシリンジ



高付加価値バイアル

ブランド品の販売に  
注力

### ● 各製造拠点

コロナ禍の厳しい環境の中、操業の維持に努める

➤ 需要増に応じる

➤ 安定供給の実現に尽力





## ● 国内

### 医薬用容器関連商品

- ・ ガラス生地管
- ・ バイアル
- ・ ゴム栓



### 医療機器関連商品

COVID-19抗原検査キット用スポンジスワブ

➡➡ 好調に推移 ↗



## ● 海外

### COVID-19ワクチン需要が堅調

欧米市場を中心に



ガラス生地管



バイアル



滅菌済ガラスシリンジ

大きく伸長



中国



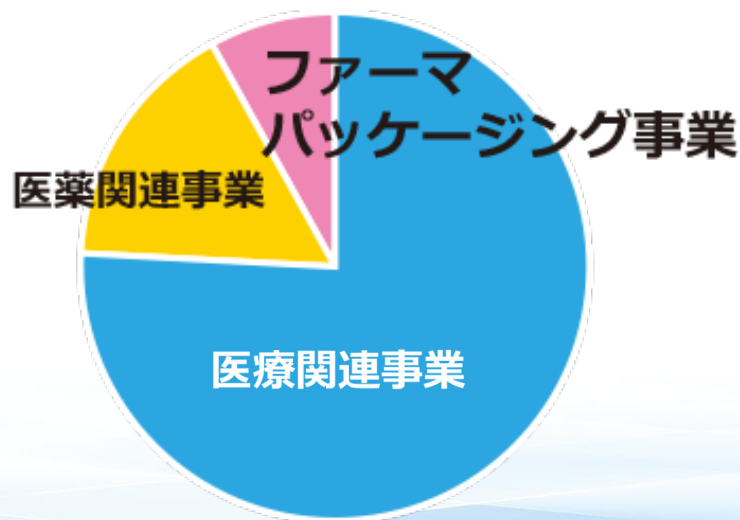
大手ワクチンメーカーにCOVID-19用バイアル  
が採用される

販売が急増

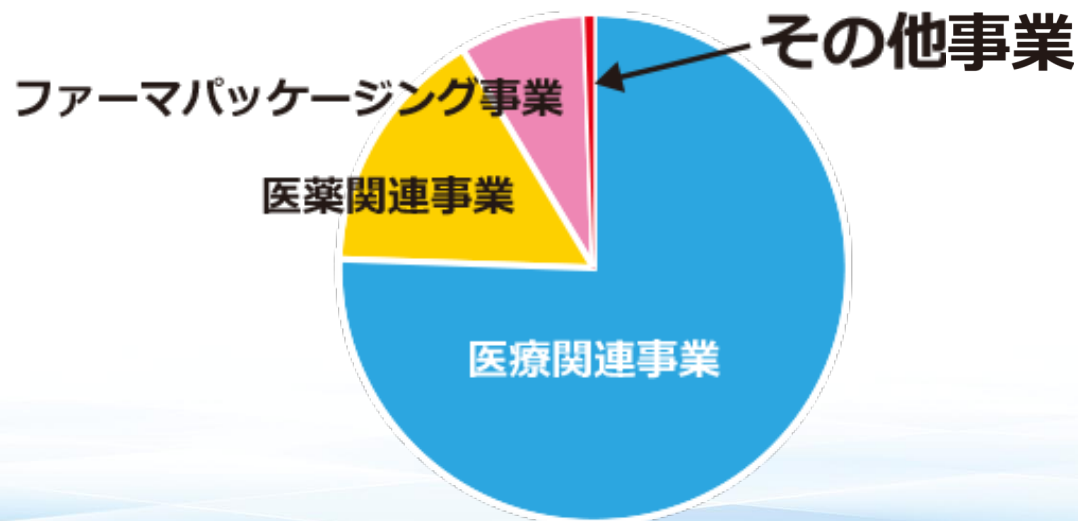


## ファーマパッケージング事業の売上高

**386億55百万円**  
(前期比6.7%増加)



# その他事業の売上高 6億91百万円



# 当期の設備投資



- ニプロ 大館工場 . . . ダイアライザ関連設備
- ニプロ 愛知工場 . . . 生産設備
- ニプロ医工 . . . 近藤工場増改築
- ニプロファーマ大館工場 . . . 生産設備
- ニプロメディカルコーポレーション . . . 透析クリニック不動産取得
- ニプロベトナムカンパニーリミテッド . . . 生産設備
- ニプロファーマパッケージングジャーマニーGmbH . . . オフィス建屋・工場設備

**総額 327億57百万円**

社会に不可欠な医療機器の安定供給責任を果たすため  
当社グループの投資を引き続き実行しつつも、財務バ  
ランスの改善にも志向するための施策の一環として

令和2年9月28日

第1回無担保公募劣後特約付社債  
(ソーシャルボンド)

**500億円**

# 対処すべき課題

## ● 現時点の国内・世界経済

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は継続

➤ 総合医療メーカーとして少しでも早い収束のための一翼を担うべく邁進

## ● 今後の国内・世界経済

ワクチン接種が全世界で進行することで感染症の影響は収束に向かい、経済活動は徐々に活発化

➤ 政府・市場の需要に速やかに応えるべく

生産能力の設備増強

製品開発

プロモーション



# 精力的に進める



# 事業別の取組状況

招集通知15ページから16ページ  
に記載の通りです。

- **そのほかの企業集団の現況に関する事項**
- **会社の株式に関する事項**
- **会社の新株予約権等に関する事項**
- **会社役員に関する事項**
- **会計監査人の状況**
- **業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況の概要**

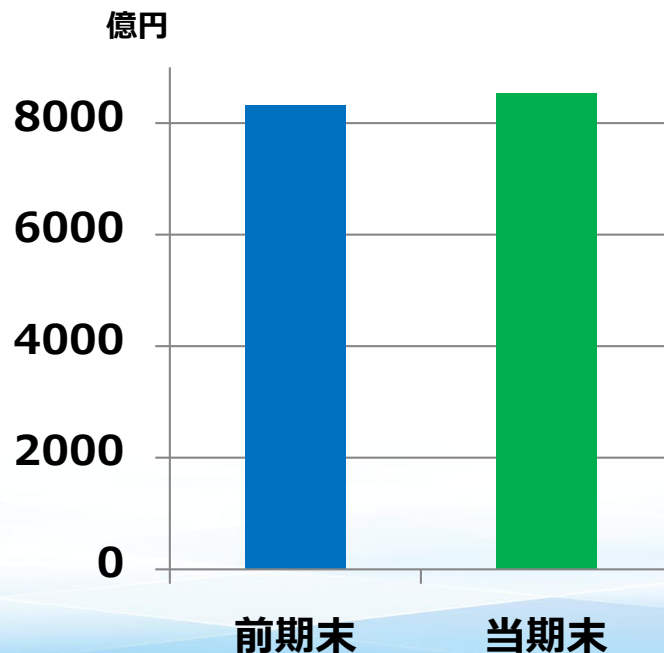
**招集通知17ページから32ページおよび  
招集ご通知に際してのインターネット開示事項  
1ページから3ページに記載の通りです。**

連結計算書類

# 連結貸借対照表

# 資産合計 8,543億96百万円

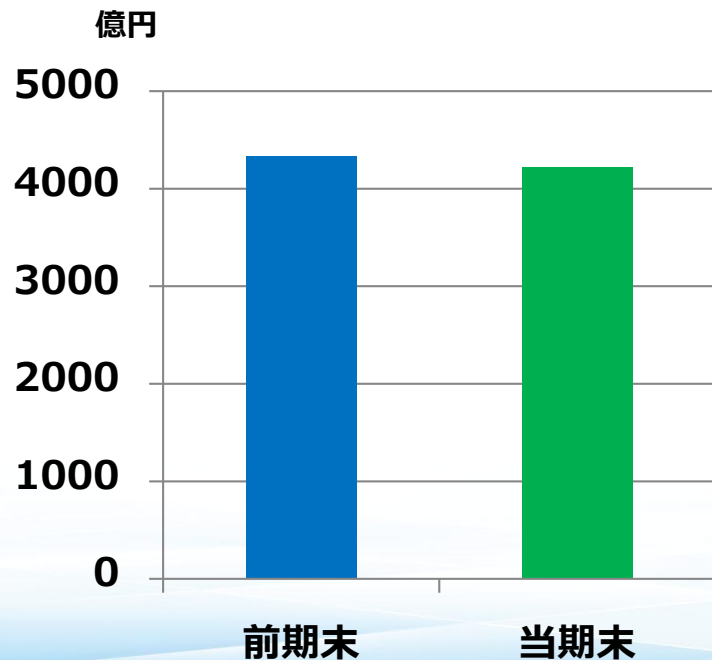
(前期末比225億31百万円の増加)



## 流動資産

# 4,213億68百万円

(前期末比116億61百万円の減少)

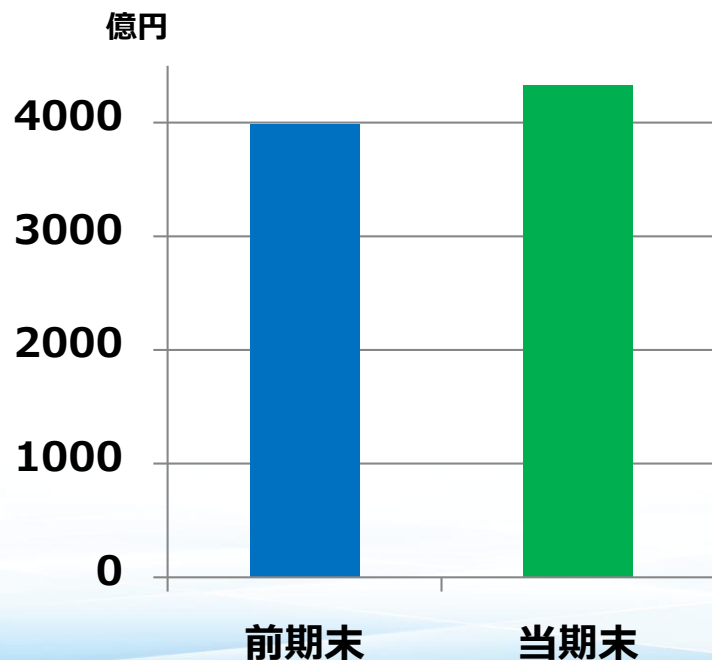


減少要因  
受取手形及び売掛金  
119億41百万円 ↓

## 固定資産

4,330億28百万円

(前期末比341億92百万円の増加)



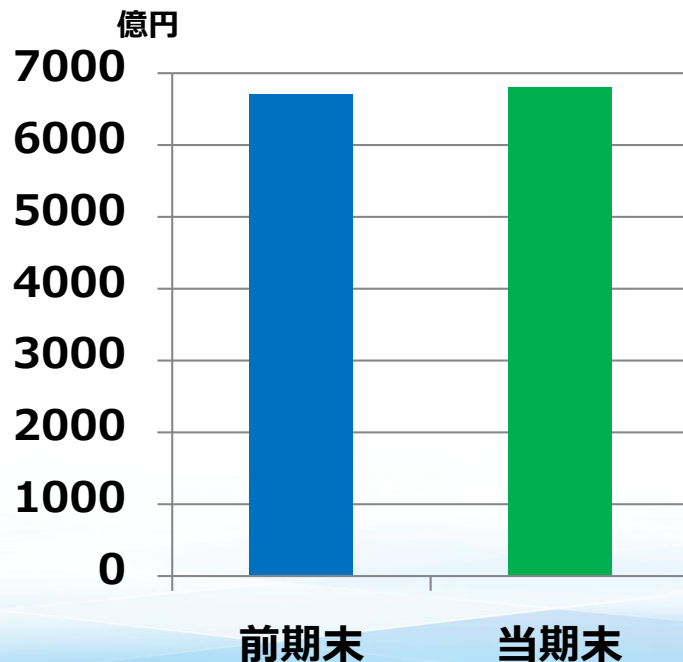
増加要因

リース資産

158億49百万円



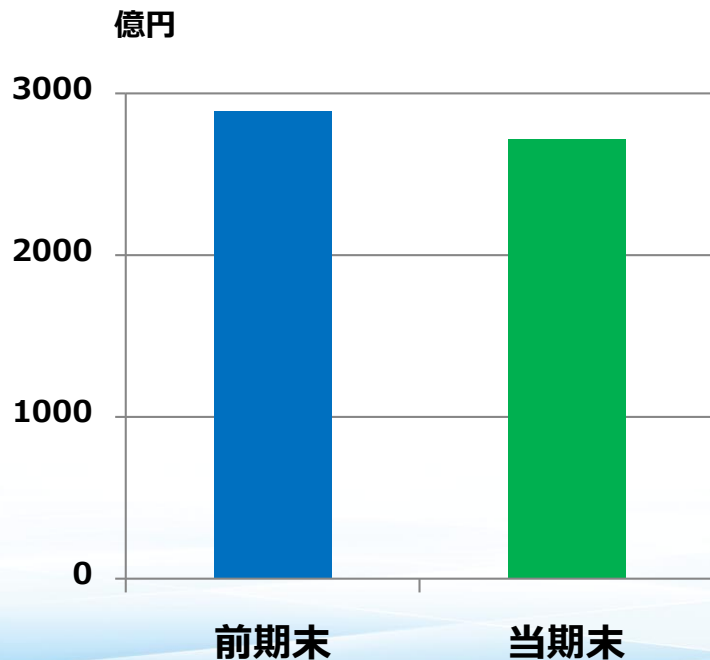
## 負債合計 6,803億43百万円 (前期末比97億15百万円の増加)



## 流動負債

# 2,715億01百万円

(前期末比179億02百万円の減少)



### 減少要因

1年内償還予定の  
転換型新株予約権付社債  
250億円

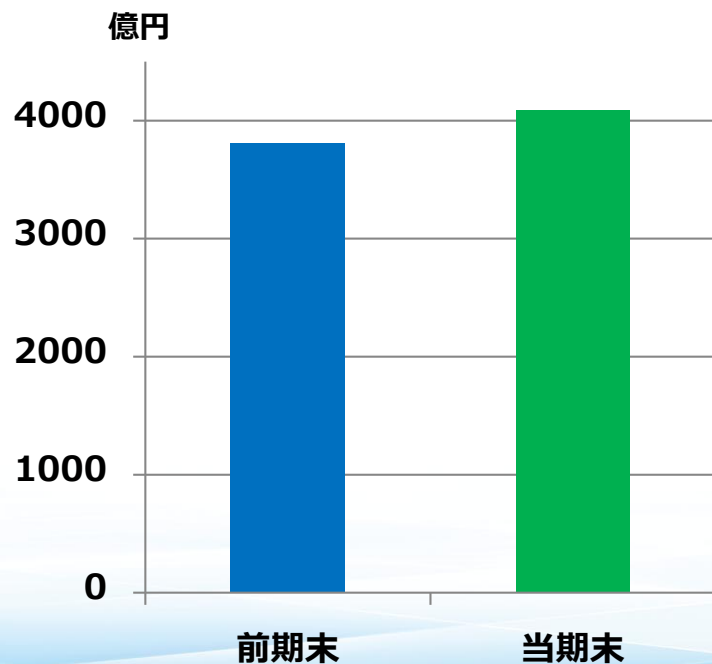




## 固定負債

# 4,088億41百万円

(前期末比276億17百万円の増加)

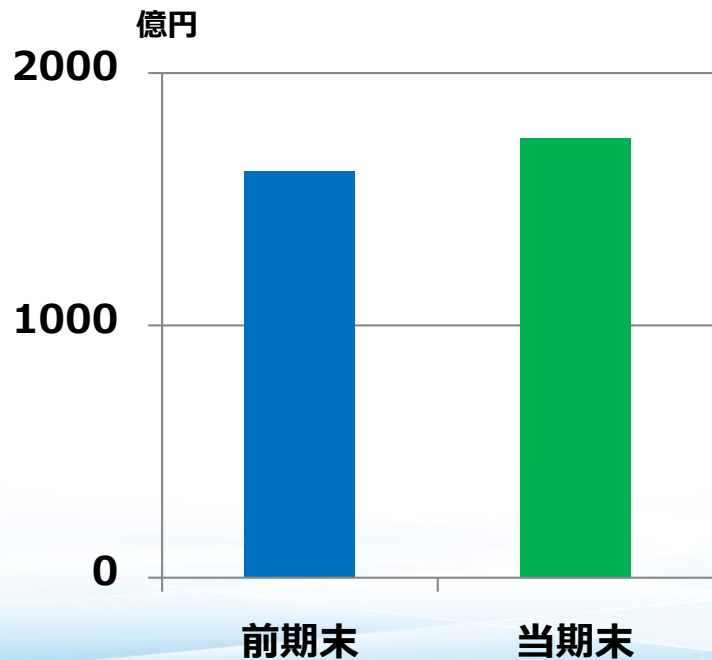


増加要因

社債 484億円 ↗

## 純資産合計 1,740億53百万円

(前期末比128億16百万円の増加)



株主資本

126億36百万円 

その他包括利益累計額

3億95百万円 

# 連結損益計算書

「事業の経過および成果」に  
記載の通りです。

- **連結株主資本等変動計算書**
- **連結注記表**
- **単体の計算書類**

**招集通知35ページから36ページおよび  
招集ご通知に際してのインターネット開示事項  
4ページから20ページに記載の通りです。**